



2月号 令和6年1月25日 発行

四中だより

朝霞市立朝霞第四中学校
埼玉県朝霞市栄町 5-1-60
TEL(048)466-4711
Fax(048)467-4744

目指す学校像

生き生きと学び、夢と希望を胸に、感動を実感できる学校

言葉のTPO

校長 稲泉 功

冬の朝霞を彩ってくれたシンボルロードのイルミネーションも明日で見納めとなり、年末年始の風物詩「あさか冬のあかりテラス」が過ぎ去ると、早いもので今年ももう2月です。どの学年も総仕上げの大切な時期ですが、1年生は2月の職業体験活動の準備をしています。働く辛さも喜びもある社会の一端に実際に身を置いた経験を通して自律心を養う良い機会としてほしいです。2年生はスキー教室へ向けて、実行委員が中心となって自分たちの力で計画を立てています。1・2年生ともに行事の実施へ向けて、それぞれ学年集団としての質と力が一層高まってきており、嬉しく思っております。

さて、3年生は、現在、高校入試に直面し張り詰めた毎日を過ごしており、下級生も3年生の姿から多くのことを感じ取っております。それぞれの学年がこの1年間の成長を感じ、大人に一步ずつ近づいている今、「言葉のTPO」について考えてみましょう。

大人になるということは、人付き合いがきちんとできるということです。その時に大切なのが言葉遣いです。言葉は人との関りを深くしたり、楽しくしたりすることができるコミュニケーションの基本です。しかし、使い方によっては誤解やけんかの元ともなります。言葉にもTPOがあります。「T」というのはタイムで時、「P」はプレイスで所、「O」はオケイジョンとって場所とか場面という意味があります。つまりその時、その場所、その場面や相手に応じて、話ができることが言葉のTPOで、大切なことです。例えば、フィールドワークや修学旅行で知らないところで迷子になったとき、通りがかりの人に友たち同士で話すような言葉遣いだったら、相手は不愉快になってしまいますよね。

先日、職員室に来た生徒が先生にきちんと敬語を使ってお話をしていたのを見ました。きっとご家庭でもしっかりとご指導していただいているのだと感心しました。教えてくださっている保護者の皆様、しっかりと実践できている生徒の皆さんは、本当に素晴らしいと思います。

落語に「たらちね」というのがあります。ご存じの方はいらっしゃるでしょうか。お嫁さんになった人が大変丁寧な言葉づかいで夫の八つつあんが困ってしまう様子が面白く表現されています。これはあくまでTPOのギャップを逆手に取り、戯画化することによって笑いにする落語の話ですが、やはり、言葉のTPOをわきまえることが大切なのです。昔から「親しき仲にも礼儀あり」というように、たとえ友達同士でも馬鹿にしたような言い方をすると友達関係が崩れてしまいます。言葉は人柄を表すものですから、自分の言葉遣いに気を付け、いい言葉遣いから豊かな人間関係を作って、みんなが気持ちよく生活できるような社会にしていきたいと思います。皆さんには適切な言葉遣いができるようになって、気持ちの良い人付き合いができる大人になってほしいと思います。



父母と先生の会 事務局会議定例会
月に一度、活動内容を振り返って、情報の共有を行うとともに、生徒、保護者、教職員のサポートをしてくださっています。事務局は、保護者、学校、地域の懸け橋です。(1月17日開催)